

平成30年度

江東区立水神小学校

10月号 水神小だより



発行 平成30年9月28日 校長 小池 洋

メタセコイア

副校長 城石 美奈子

「めたせこいあ」水神小学校のシンボルの一つです。

学校の子供たちに、

「メタセコイアはこの木って分かりますか？」

と聞いてみたところ、3年生くらいまでの子は「分かる」という子と「分からない」「たぶん分かる」という子が半々でした。

「メタセコイア」について

「メタセコイア」は、日本を含む北半球で化石として発見されました。日本では、各地の新生第三紀層に見られ、広く分布していました。当初は、化石としてのみ発見されていたため、絶滅した植物と考えられていました。1945年に中国四川省磨刀村で現存していることが確認され「生きている化石」と呼ばれるようになりました。

私事ですが、水神小学校に「メタセコイア」があると聞いたとき、(メタセコイア?)初めて耳にした名前だったため、ピンとくるものがありませんでした。私の実の母に『水神小学校の通知表は「めたせこいあ」という名前だ』と伝えると、

「生きている化石の メタセコイア ね。」

と、即答したので驚きました。母の出身地の愛媛県伊予市では「市の木」に指定されていたそうです。

中国で「メタセコイア」が発見された後、日本は挿し木と種子を譲り受け、全国各地の公園、並木道、市、学校などに植えられるようになったそうです。

その中で、58年前の11月5日、本校が第一亀戸小学校から分かれてこの地に設立されたときに「メタ

セコイア」を譲り受けたということは、大変栄誉なことです。「メタセコイア」は水神小学校の歴史を見つけてきました。今、「メタセコイア」は、かなり大きく育っています。成長すると樹高は25m～30m、幹は直径1.5mにもなるそうです。

学校では、樹木の手入れをしながら大切に育てています。

「生きている化石」であるからこそ水神小学校のシンボルの一つであり、PTA広報誌のタイトルであり、水神小学校の通知表の名前になっているのです。



さて、もうすぐ子供たちが楽しみにしている「めたせこいあ」(通知表)を受け取る時期になりました。通知表は、前期の学習の習熟について、学習の様子、道徳科、外国語活動、総合的な学習、行動の記録、学校からのお子さんについての様子をご家庭に伝えることが主な内容です。単に学校生活、学習について伝えるだけではありません。子供たちのこれからのやる気を左右する重要な役割があると思っています。お子さんが「めたせこいあ」を持ち帰ったら、ぜひ頑張ったことを褒めてあげてください。そして、励みになる声かけをしてあげてください。